



学びには「発憤」することが必要だ。

2021年も残り少なくなってきました。2学期も新型コロナウイルス感染症対策としてやむなく時差登校をしてのスタート、体育大会の簡略化、学習発表会の中止など、思いどおりにならないことが多かったですが、生徒の皆さんは、感染症対策をしっかり行い、1日1日を大切に過ごしてきました。先日の校内持久走・駅伝大会で一人一人が自分の限界に挑戦しゴールを目指して一生懸命走る姿に、目頭が熱くなりました。また、友達が走る姿に声援を送る姿、走り終わってお互いの健闘をたたえ合う姿に感動を覚えました。

いよいよ3年生は進路実現に向けての正念場。1、2年生も学習の成果をしっかりと自分のものとして定着させるための大事な時期を迎えています。「学ぶ」という言葉と「勉強」という言葉があります。2つは同じようですが気持ちの持ちようが全然違うと思います。勉強の字の意味からすると「勉（つと）めて強（し）いる」、強制的にさせられるというイメージがあります。本来「学ぶ」ということは、分かる・できるようになる喜び楽しさや学ぶ価値を感じられるものであり、自分から進んで学びたい、がんばるぞという主体的に取り組まれているとき、本当に力となるものです。先日、全校朝会で、江戸時代の佐藤一斎という人がまとめた「言志四録（げんししらく）」という書物のなかから、「憤の一字は、是れ進学の機関なり」という言葉を紹介しました。意味は、「発憤するの憤の一字は学問のための重要な道具である。」ということです。「発憤（はっふん）」とは、やる気よりももっと熱く、身がかき混ぜられるような、奮い立つような感覚です。では、ここぞという時に「発憤」できるためには、日頃からどういうことに気を付けておけばよいのでしょうか。佐藤一斎は、「心を奮い立たせるためには、強制してはいけない。自分の好きなことをするしかない。」というようなことを言っています。学習でも、趣味でもスポーツでもいい、**ワクワクしながら何かに打ち込む**、このワクワクを数多く経験しておくことが大事だということです。ここ一番頑張らなければならないときに、その感覚をよみがえらせ、自らを奮い立たせる力とすることができるからです。ただし、「じゃあゲームは？」という人がいるでしょう。オンラインゲームがだめとは言えませんが、やるべきことがそっちのけになり、長時間やめられなくなって生活リズムが崩れるようでは意味がありません。そのことに「はまる」ことによって「分かる・できるようになること」が増えることがより良いと言えるでしょう。たとえ短い時間でも、ワクワクする感覚をしっかり味わうことが大切です。

2021年が終わろうとしています。この一年を振り返って反省し、ワクワクする新年を迎えるために、目標、抱負を明らかにしましょう。

「憤」の一字は、是れ進学の機関なり。

佐藤一斎 いっさい 「言志四録」 げんししらく より

「発憤する」の「憤」の一字は、学問に進むための最も必要な道具である。つまり、よりよく学ぶためには、やらされていやいややるのではなく、発憤する（身がかき混ぜられるような、奮い立つような感覚になる、ワクワク、張り切っている）ことが大事であるということ。

1月の主な行事

「SC来校」はスクールカウンセラーが来校する日です。

日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事
1	土	年始休暇	11	火	始業式・大掃除	21	金	新入生入学説明会(制服採寸含む)
2	日	年始休暇	12	水	3年実力テスト(1~3校時) 学校納金日[1年]	22	土	週休日 私立一般入試開始
3	月	年始休暇	13	木	3年実力テスト(1、2校時) 学校納金日[2年] PTA三役会	23	日	週休日
4	火	仕事始め	14	金	私立高校入試事前指導(3年) 修学旅行事前指導(2年) 学校納金日[3年] 第3回英検	24	月	職員研修(授業は5校時まで)
5	水		15	土	週休日	25	火	2年修学旅行(1日目) 市SC来校(終日)
6	木		16	日	週休日	26	水	2年修学旅行(2日目)
7	金		17	月	私立高校推薦入試日 職員会議(授業は5校時まで)	27	木	2年修学旅行(3日目)
8	土	週休日	18	火	鹿児島学習定着度調査1日目 (1、2年1~3校時) 第7回家庭教育学級(アロマ)	28	金	職業講話(1年) 2年休養措置日 県SC来校
9	日	週休日	19	水	鹿児島学習定着度調査2日目 (1、2年1、2校時) 市SC来校(終日)	29	土	週休日
10	月	成人の日	20	木	生徒会学校専門部会(放課後) PTA理事会・役員選考委員会	30	日	週休日
						31	月	

「マナーとは、相手を大切に思う気持ち」3年生マナー教室実施。

12月15日(水)に、3年生を対象に「マナー教室」が実施されました。講師は、鹿児島高校の小森園猛先生と、鹿児島高校の3名の3年生。ルールは罰則があるがマナーには罰則がないこと、**マナーは、相手を大切に思う気持ち**という話が胸にすんと落ちました。マナーの中でも、**第一印象を決める「あいさつ」が最も大事**とのこと。そして、服装、立ち振る舞い、視線など気を付けることについて具体的に分かりやすい指導でした。3名の高校生は既に県内の有名企業に就職が決まっているようで、その模範は**さりげなく、スムーズに、しっかり**とできていて、とてもいいお手本でした。続いて、3年生も実際に声を出して動きながら練習してみました。意義や努力することがはっきりするとしっかりとできるようになるもの。わずか1時間でも成果がみられました。高校受検では面接があり、今回のマナー教室もそのことを念頭において実施されました。実施後、毎日3年生の様子を見ていますと、気を付けて過ごしている人、意識が薄れてしまっている人など様々です。マナーを身に付けることは一生役立つことであり、**魅力的な大人になるために必要な**ことです。マナーを守ることの大切さを毎日、毎日かみしめながら気を付けて過ごして、洗練された、素敵な姿を目指しましょう。



高校生の素晴らしい模範演技



3年生も実際に練習してみました。

自分の限界に挑戦！ 持久走・駅伝競走大会

アップダウンが激しい、過酷な2.336kmのコース。自分のタイムを1秒でも縮めたい、最後まであきらめずにゴールを切りたいという姿。学級代表として、少しでも前に、速く、たすきをつなぎたいと歯を食いしばって走る姿。みんなそれぞれ自分を超越するために挑戦しました。決勝テープを切るまで声のかぎりに応援する姿、走り終えてお互いの健闘をたたえ合う姿、数々の感動をありがとう。

<持久走の部>

全校総合 第1位 1年1組

1年第1位 1年1組 2年第1位 2年2組 3年第1位 3年1組

<駅伝競走大会の部>

学級総合タイム (男女)		区間賞	男子		女子	
第1位	2年3組	1区	2年3組	財部 青生	2年3組	宮原 佐来
第2位	2年1組	2区	2年3組	諏訪免 幸生	2年2組	橋元 瑠華
第3位	2年2組	3区	2年1組	柗 雷樹	2年1組	大浪 ゆな
第4位	3年3組	4区	2年1組	曾木 翔生	2年2組	藤原 結花
第5位	2年4組	5区	2年3組	坂元 悠真	3年1組	山下れもん



表彰・生徒の活躍

これまでに紹介できなかった表彰も含めて、生徒の皆さんの活躍を紹介します。

- 第58回南日本硬筆展
優秀賞 2年 深野 桐子
推薦 2年 高野 麻陽 久保 結愛
金賞 2年 三好 希空
銀賞 2年 東 玖優

- 鹿児島市理科作品展
特選 1年 吉満 ゆい
入選 2年 盛満 結貴 深野 桐子 萩平 萌佳 海江田 真那
入選 1年 芝崎 楽 古賀 悠仁 田代 瑛大 山下 莉空

- 第14回南日本ジュニア美術展
平面の部 入選 1年 古賀 悠仁 ※2、3年生は9月21日号に掲載済。

- 税についての作文（全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁主催）
優秀賞 3年 東村 莉歩

- 「こころの言の葉」コンクール中学生の部
入選 3年 永田 羚真 1年 須賀 結麻

- 第34回海音寺潮五郎記念読書感想文・感想画コンクール
感想文の部 優良賞 1年 吉田 勝
入選 1年 野口 美佐緒

- 第40回全国中学生人権作文コンテスト鹿児島県大会
奨励賞 2年 中村 百花

- 第49回JA共済小・中学生交通安全ポスターコンクール
銅賞 3年 茂 恋羽 須納瀬 萌 川畑 伶未 芝崎 葉音
佳作 3年 岩元 沙也花 脇 埜乃香 川津 麻央

- 第65回JA共済小・中学生書道コンクール
半紙の部 銀賞 1年 馬場 悠颯
条幅の部 銅賞 2年 米森 大悟

- 選抜中学校野球伊集院大会 パートリーグ優勝 最優秀選手賞 2年 松田 優姫
- 第29回県下中学校秋季選抜野球大会 第3位
- 第25回アクネススポーツ旗争奪阿久根選抜中学校野球大会 優勝
最優秀選手賞 2年 三浦 杏仁
- 第36回選抜中学校野球川内大会 準優勝 最優秀選手賞 2年 児玉 優吏
- 令和3年度 城山旗中学校野球大会 優勝 最優秀選手賞 2年 前田 大成
〃 吉野東B 第3位 最優秀選手賞 2年 大浪 ゆな

- 鹿児島市中学校新人剣道大会 女子個人 第3位 1年 平原 陽華

- 第18回鹿児島レディース陸上競技大会
女子中学2・3年 3km 第2位 3年 芝崎 葉音 記録10分09秒

- 令和3年度 第8回秋季鹿児島市新人サッカー大会 第4位